

令和7年度 結城南中学校区新設校に関する説明会報告書

1 説明会の実施概要

会場	実施日時	参加者数
絹川地区多目的集会施設	令和7年8月 9日(土) 10:00～11:00	49人
上山川就業改善センター	令和7年8月 9日(土) 14:00～15:00	43人
市立公民館	令和7年8月 9日(土) 17:00～18:15	32人
山川文化会館	令和7年8月10日(日) 10:00～11:00	42人
江川地区多目的集会施設	令和7年8月10日(日) 14:00～15:15	43人
合計（延べ人数）		209人

2 説明会における主な質疑応答のまとめ

質問・要望	回 答	在住地区
①上山川地区はスクールバスを利用できるのか。全員が無料で利用できるのか。	上山川地区では上山川小学校を停留所とする案がある。新設校からの距離が2kmを超える方は上山川小学校に集合してバスを利用することを想定。2kmより近い方は歩いて新設小学校に登校するか、停留所に向かいスクールバスを使い登校するかのいずれかになる。 希望すれば全ての児童がスクールバスを利用でき、現時点では無料で進めている。 (学校教育課)	上山川地区
②中学生と小学生の通学路が重なるなど危険箇所があるが、スクールゾーンの設置等を今後検討していくのか。	通学路の安全対策については、毎年各学校から報告があった危険箇所について警察や土木事務所、関係機関と一体で通学路安全点検を実施している。新設校の場合もワーキングチームで新しい通学路を決定した上で、必要な点検・対策等を実施していく予定。 (学校教育課)	上山川地区
③教育課程部会で「ふるさと学習」について具体的にどのようなことを検討しているか。米作りなどの農業体験の機会がないので新しい学習に取り入れてほしい。	現在、各小学校で総合的な学習の時間に学んでいること、例えば上山川小学校であれば結城廃寺について学習しているが、そのような歴史や文化といった市の誇りを醸成するような教育が行われているので、5つの小学校それぞれで行っている部分を新しい小学校で統合し深化を進めてい	上山川地区

	くといったことを検討している。 (学校教育課)	
④官民連携して農業体験ができる場の提供や、ふるさと納税の返礼品開発などができる組織を立ち上げれば、そこを中心に新しい教育や産業に繋がれるのではないかと考えている。官民連携の円卓会議のようなものを開いていただきたい。また市全体の地域振興というところで市長の考えを聞きたい。	新設校では南部地域の特性を生かした教育環境で様々な体験を通して探求型学習をさせたいと考えている。「区域指定制度」により、この地域で子育てがしたい、この小学校で学ばせたいという方たちが移り住めるようにすることで、新設小学校・結城南中学校を中心に子どもたちからお年寄りまで集える場所にしたい。北部市街地、駅南の市役所を中心とした地域、併せて工業団地等しっかりと進め、バランスの取れた地域の発展と持続可能な発展を目指していく。 (市長)	上山川地区
⑤結城南中学校は教室の数が余っていると思う。今の中学校を活用するということは難しいのか。	中学校と小学校は建物の基準が異なり、小学生が中学校の校舎を使用するためには改修工事が必要になる。さらに中学校校舎は築50年ほど経っているため、存続させるためには大規模改修工事か中学校の建替えが必要になる。そのため小学生が中学校校舎を利用するのではなく、中学生が新設小学校校舎を利用することを想定している。 (学校教育課)	江川地区
⑥結城市全体の出生数が約200名程度になっている。これからさらに減っていく上に、南部ではほとんど子どもが生まれない。来年度、七五三場地区は1年生が2人入って以降日本人の子どもはゼロになる予定。そうすると、結城市全体として1学年200人になった時に、北部地区と南部地区それぞれをどうしていくのか。	これからの子どもたちは、世界の将来を担う子どもたちなので、誰一人取り残さない一人一人しっかり成長に合わせた教育環境をつくって魅力ある学校にしたい。学校づくりと併せて、この地域に住みたいと言ってもらえるような魅力的な地域づくりを進め、現在の出生数になるべく維持したい。 (市長)	江川地区

⑦令和１０年になると合併を予定していても１クラス３０人前後の人数になると思うので、この新設小学校の教室も大分余るのではないかと思うが、どう考えているのか。令和１０年度以降も子どもの数はさらに減っていくと思うが、教室の数はこれで大丈夫なのか。	令和１０年度見込みで児童数４２８名、１～４年生までが２クラス、５・６年生が３クラスの計１４学級で計画している。現在小学校は、３５人学級ということで編制している。さらに子どもたちの教育的ニーズに合わせて普通学級だけではなく「少人数での学び」など新しい教育スタイルを取り入れる予定なので、教室が余ることではなく教室の活用ということで対応できるような配置計画としている。 (学校教育課)	江川地区
⑧中学校の建替えの際は小さくするのか。	今後、中学校の建替えを検討する場合に、中学生の普通教室が新設小学校の校舎でまかなえるのであれば、規模は縮小して特別教室棟だけを建てるといったことも検討できるのではないかと考えている。 (学校教育課)	江川地区
⑨今の段階で明野五葉学園のような義務教育学校を建設するつもりはないのか。いずれ義務教育学校にするつもりはあるのか。	結城南中学校区の適正規模化の検討では、５つの小学校をまず統合することを前提に始まった。いきなり義務教育学校になった時の中学生の心理的な影響を配慮し、中学校はそのまま結城南中学校として残し、新しい小学校のみ建設し小中一貫校としてスタートさせていただきたいと進めてきた。義務教育学校になれば校長先生１人の１組織になるので、児童生徒数の推移により規模的に無理がないか勘案しながら将来的には義務教育学校化に向けて検討していきたい。 (学校教育課)	江川地区
⑩絹川小学校に通っていて、東中に通っている子はそのまま中学校は東中に通うことは可能なのか。	絹川地区の小森・久保田・宮崎・慶福の４地区に関しては、結城東中学校が指定となっている。このままでは新設小学校ができて中学校は東中になるが、小中一貫教育を継続するという理由で南中学校進学を希望すれば通うことも可能としたい。 (学校教育課)	江川地区

⑪七五三場地区から古河の中学校へ通うのは可能か。七五三場からだと結城南中学校まで9 km ぐらいある。一番近い三和の中学校だと1.5 kmで行ける。災害時の対応等考えると結城南中学校だと遠くて不便なので、そちらに行けたほうがよい。	条件を満たし区域外申請が認められれば可能になるが、基本的には市内の通学区域を守っていただきたい。（学校教育課） 魅力ある地域づくりを含め、その地域の中心に小学校、中学校を置きたいと考えているので、ぜひ遠くても七五三場から通っていただきたい。（市長）	江川地区
⑫9月予算案として体育館カットとのことだが、当初予算否決後に保護者や市民にお知らせや説明会をすぐにできなかったのか。詳細についてはこのような説明会でないと教えてもらえないのか。今回の説明会まで宙ぶらりんの状態で、不安なのは私だけでないと思う。放課後児童クラブについても、決まり次第ではなく、検討段階をどこかの図書館や共有スペース等で公表してもらいたい。	予算が否決された時点で小学校・中学校のPTA総会時に市長からのメッセージを配信、全保護者に通知文を配り、結果報告をしたつもりであった。否決後は、事業費削減パターンの検討や体育館削減に関する設計の見直しなど協議を経て、体育館を削除する案を決定した。この方針について、なるべく早く保護者や市民に関わらず多くの方に知らせたいとの思いから今回の説明会を開催した。（教育部長） 体育館の削除は苦渋の決断であり、できれば造りたかった。私どもも最善の努力をしながら様々なシミュレーションをして、財政状況を説明した上で何とか乗り切れるという判断をして当初予算で提案をしたが、最終的に議員の方たちにご理解いただけなかった。あちこちの看板を見た方や子どもたちの置かれている状況を考えて心配になった方もいると思う。この学校を造るコンセプトは地域に開かれた学校づくり、地域の子どもたちを地域で育てる、成長段階に合わせた多様な学び方に対応することなどを掲げている。さらにメディアセンターや図書館、ランチルームなど地域の方々と共有していただき、子どもを真ん中において皆さんとともに子どもたちの成長を見守っていくというスタンスで考えている。（市長）	江川地区

⑬令和３年の結城市適正配置等検討委員会から新設校が必要と提言があったとき、新設校について市議会で決めたのはいつなのか。予算を決める段階で値上がりしたが、建設費の予算が否決になった理由はそれだけだったのか。他に理由が考えられるのではないかな。 先送りとなると、家の子どもが新しい学校に上がれると言ったのが、上がれないまま終わってしまうので、ぜひとも早く決着をつけてほしい。	令和３年度に「結城市学校適正配置等に関する提言書」で提言をいただき、その提言書に基づき市において「結城市学校適正配置等に関する方針」を決定し、その時に議員に説明した。方針については説明のみで、市議会の承認はいただいていない。令和６年度当初予算のときに附帯決議として意見があった。それに従い、当初令和９年４月開校を目指していたが令和１０年４月開校に延期し、建設費を圧縮するために中央廊下の幅を狭くした。その後、結城南中学校区新設校に関する調査特別委員会が立ち上がり８つの提言がなされた。調査特別委員会からの提言を重視し、令和７年度当初予算として建設費を圧縮して提案したが、残念ながら修正案として全額削除されたという経緯である。そのため、さらなる予算圧縮案として体育館を削除して校舎のみの建設費を９月議会で再度提案するという流れである。（教育部長） 今回の学校建設についての市議会との関係としては、令和４年度予算として当時は令和９年度開校の計画で基本構想・基本計画策定のための予算を市議会で承認いただいた。その後、校舎を造るということで令和５年、６年度予算として基本設計・実施設計についても市議会の承認をいただいた。そういう意味では市議会の承認をいただきながら、基本構想・基本計画、基本設計・実施設計という順番に至っているところである。（副市長）	上山川地区
⑭現在、子どもが４歳であり、初めて説明会に参加した。令和１０年までの間の進捗状況はこのような説明会で教えてもらえるのか。	説明会や推進委員会の会報で皆さんにお知らせする機会を作っていく。その他、市のホームページやいろいろな媒体を使い、お知らせを随時行っていく。（学校教育課）	絹川地区